

大会名 Competition	ウィンターカップ2023秋田県予選会 男子決勝
NO, M-4	Year Month Day Time 2023 年 10 月 29 日 14 : 30
場 所 Place	美郷町総合体育館リリオス



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB															
能代科技	<table border="1"> <tr><td>31</td><td>1st</td><td>21</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>20</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	31	1st	21	13	2nd	14	24	3rd	15	25	4th	20	OT			秋田工
31	1st	21															
13	2nd	14															
24	3rd	15															
25	4th	20															
OT																	
93 ○		70 ●															

Crew Chief
小川 裕之

Umpire 1
田村 高光

Umpire 2
相澤慎之介

テーブルオフィシャルズ: Table officials
大曲農業・平成高校男子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	中野 珠斗	中野 珠斗	15	1	6	0	1	4	×	最上 汎	最上 汎	23	7	1	0	1
5	×	関口 創介	関口 創介	9	1	3	0	3	5	×	鎌田 琉羽	鎌田 琉羽	0	0	0	0	2
6	×	大高 琉翔	大高 琉翔	17	1	7	0	4	6	×	谷内 真貫	谷内 真貫	7	1	2	0	1
7	×	伊藤 賑一	伊藤 賑一	26	5	5	1	2	7	×	高橋 峻大	高橋 峻大	34	4	10	2	1
8	/	佐藤 楓生	佐藤 楓生	0	0	0	0	0	8	/	二木 颯太	二木 颯太	2	0	1	0	0
9	×	小田 崑斗	小田 崑斗	24	4	6	0	4	9		千田 健志朗	千田 健志朗	-	-	-	-	-
10		鈴木 慶人	鈴木 慶人	-	-	-	-	-	10	×	大角 洸碧	大角 洸碧	4	0	2	0	1
11	/	岸 真矢	岸 真矢	0	0	0	0	0	11	/	三戸 唯翔	三戸 唯翔	0	0	0	0	1
12		山本 威吹	山本 威吹	-	-	-	-	-	12		田子 琉斗	田子 琉斗	-	-	-	-	-
13		小玉 羽竜	小玉 羽竜	-	-	-	-	-	13		田口 陸人	田口 陸人	-	-	-	-	-
14	/	見上 匠	見上 匠	2	0	1	0	0	14		桜庭 太一	桜庭 太一	-	-	-	-	-
15		草薙 理倫	草薙 理倫	-	-	-	-	-	15		安保 汰一	安保 汰一	-	-	-	-	-
16		吉岡 寿吉	吉岡 寿吉	-	-	-	-	-	16		太田 蓮依	太田 蓮依	-	-	-	-	-
17		山崎 七星	山崎 七星	-	-	-	-	-	17		山野 圭介	山野 圭介	-	-	-	-	-
18		近藤 愛翔	近藤 愛翔	-	-	-	-	-	18		鎌田 琉輝	鎌田 琉輝	-	-	-	-	-
19		宮田 蒼羽	宮田 蒼羽	-	-	-	-	-	19		米沢 日快	米沢 日快	-	-	-	-	-
20		高坂 岳喜	高坂 岳喜	-	-	-	-	-	20		佐藤 大騎	佐藤 大騎	-	-	-	-	-
21		平川 晴喜	平川 晴喜	-	-	-	-	-	21		菅原 州駆	菅原 州駆	-	-	-	-	-
コーチ		小松 元聡	小松 元聡						コーチ		小松 和幸	小松 和幸					
Aコーチ		長谷川 聡	長谷川 聡						Aコーチ		神坂 晴	神坂 晴					
合 計				93	12	28	1	14	合 計				70	12	16	2	7

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

男子の決勝は、6連覇を狙う能代科技と、6年ぶりの優勝を目指す秋田工業との対戦となった。

第1Qは両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。能代科技#9小田崑がレイアップで先制し、#6大高が3Pを決めると、秋田工は#7高橋が鋭いドライブで決め返す。能代科技は#4中野のミドルや#9小田崑の3Pで加点すると、秋田工は能代科技のプレッシャーに苦しみながらも#7高橋が3Pやドライブを決めてペースを渡さない。残り3分で18-18と拮抗した展開となったが、終盤に能代科技が#4中野や#7伊藤の3Pで差を広げ、31-21で1Qを終えた。

第2Qもマンツーマンディフェンスでスタート。秋田工が#7高橋の3点プレイで差を詰め、ディフェンスをマッチアップゾーンに切り替えると能代科技の得点が止まる。秋田工は#8二木のオフェンスリバウンドから#4最上の3P、さらに#7高橋のボールプッシュで加点し、2分を経過したところで31-31の同点とする。その後はお互いにシュートが決まらず我慢の時間帯が続くが、7分を過ぎたところから能代科技のディフェンスのプレッシャーが強まり、秋田工はタフショットが続く。終盤には能代科技が立て続けにスティールを得点につなげ、44-35と能代科技が9点リードして前半を終える。

第3Q、能代科技がゾーンディフェンスに切り替え、さらにオールコートプレスを仕掛けて秋田工のターンオーバーを誘発する。序盤は秋田工のオフェンスが停滞したが、#4最上が3連続で3Pを決めて嫌なムードを断ち切り、残り6分で51-46と点差を詰める。ところが、ここから能代科技のオールコートプレスが効き始め、秋田工はボールキャリアーでミスを連発して3分間得点が止まる。逆に能代科技は#7伊藤が3本の3Pを決めて差を広げ、68-50と18点差として第3Qを終える。

第4Q、能代科技はゾーンディフェンス、秋田工はマンツーマンディフェンスでスタート。差を詰めたい秋田工は、#7高橋や#4最上が3Pを決めて68-56と12点差まで迫る。対する能代科技は#6大高のボールプッシュや#5関口のゴール下で加点し、二桁リードをキープする。その後は能代科技がオールコートディフェンスを継続して秋田工のターンオーバーを誘い、秋田工はなかなかシュートまでもっていけない。終盤に能代科技は#5関口が3Pを決めて秋田工を突き放し、93-70でタイムアップ。

試合全体を通して激しいディフェンスを継続し、高確率の外角シュートで加点し、ディフェンスリバウンドからの速い展開に持ち込んだ能代科技がウィンターカップ出場を勝ち取った。